



# たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 県議会最多の10回目一般質問

**印西市特集**

真摯な政治姿勢が評価され、県議1期目ながら総合企画水道常任委員会委員長に抜擢されている印西市選出の滝田敏幸(たきた・としゆき)県議は、2月定例県議会で平成19年の初当選以来早くも10回目の一般質問に登壇しました。これは県議会全議員中、最多の登壇回数を誇ります。

滝田県議は、北総鉄道の運賃是正問題で、12月定例県議会では民主党県議団をも巻き込み、国への意見書提出にこぎつけるなど、豊富な人脈を駆使して議会内での調整力を遺憾なく発揮しました。2月県議会では、これを受けて北総鉄道の具体的な利用促進に向け、地元6市などで設置した協議会に対する県としての基本的な考え方をたずねました。2月議会での滝田県議の主な質疑を1、2面で特集しました。



2月県議会一般質問

北総鉄道  
運賃問題

### 国への意見書を集約

北総鉄道の運賃問題は正に誰よりも真剣に取り組んできた滝田敏幸県議は、12月定例県議会の最終日に、東葉高速鉄道と北総鉄道の長期債務の軽減を図るため、独立行政法人の鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄建機構)の利益剰余金の活用を求める意見書の採択に向け、奔走しました。

滝田県議は、県政において鉄道問題を所管する総合企画水道常任委員長を務めており、国に対する意見書の提出では、自民党内の意見調整だけでなく、民主党県連をも巻き込み、自民・民主の共同提案の形にするなど、議会内での調整力を十分に発揮しました。

北総鉄道の鉄建機構の1兆5千億円の剰余金については、当初から新年度予算編成の一般財源に充てる方針でしたが、長期債務を抱える両鉄道の厳しい財務状況を勘案し、この利益剰余金を鉄道事業に還元し、両鉄道の債務軽減を図るよう、滝田県議が民主党の県議団に働きかけ、共同提案に持ち込んだものです。

滝田県議は記者の質問に対し「民主党が国庫返納の方針を示しているのに、オール千葉県として国への意見書を提出してくれた県議会民主党に敬意を表したい」と語り、大きく報道されました。

### 協議会設置の目的質す

滝田議員 北総鉄道の運賃問題について、今後の取り組みとしては、利益を求める鉄道会社が鉄道の利用促進に取り組むことはもちろんですが、地元の沿線6市も魅力あるまちづくりの一環として、自治体と鉄道会社が連携し「北総線利用促進協議会」を作ることになっており、この協議会が1月20日に設置されたと聞いており、私も期待しているところですが、同協議会を設置した基本的な考え方は何か。

知事 県、沿線6市、鉄道事業者などで設置した同協議会は、北総線沿線地域の魅力に関係者が一体となっ

具体的には、関係者が連携して地域のイベントや鉄道施設のさまざまな広報媒体を活用して、住宅地、ビジネス拠点、観光地など沿線の魅力を発信してまいります。県としても、この協議会を通じて、関係者が連携して取り組んでいけるよう、できる限り協力してまいります。

**たきた敏幸県政報告会**  
**佐藤優、来たる!!**  
—緊急時局講演会—

- 3/12(土) 17時～18時半
- 印西市文化ホール・多目的室

**佐藤 優**  
(さとうまさる)  
外務省初代主任  
分析官・作家

問合せ・申し込み  
☎0476-29-5705

## 千葉県と印西市発展に全力!

●千葉県と印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。  
〒270-1326 印西市木下1521  
**たきた敏幸事務所** TEL.0476(29)5705